



外国籍県民向け多言語情報サイト「Live in Hiroshima」の開設について ～多文化共生社会の実現に向けた取り組み～

広島県地域政策局国際課

広島県における外国籍県民の状況

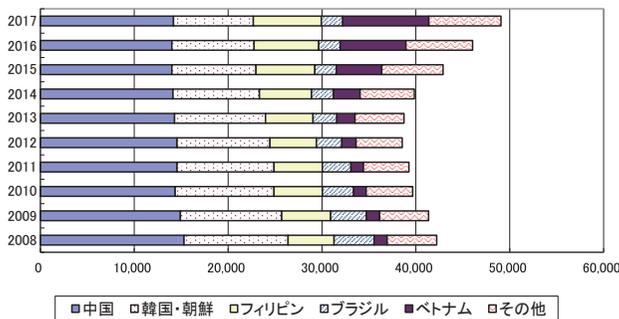
2017年12月末現在の広島県の外国籍県民は、4万9,068人（法務省データ）と過去最高を3年連続更新し、県人口の約1.7%を占めるに至っています。1989年（平成元年）の1万9,672人と比べるとおよそ2.5倍となっており、2008年をピークとして減少傾向にあった人口も、増加に転じた2013年からここ数年で1万人以上も増加しています。

国籍別では、ベトナムの伸びが大きく、2013年の1,938人が2017年には9,175人と4.7倍となっており、初めて中国に次いで2番目となりました。

これに、韓国・朝鮮、フィリピン、ブラジルが続きます。

一方で、ブラジルは、2008年の4,259人から、2017年の2,281人へとここ10年で46%も減少しています。

国籍別外国籍県民の推移



在留資格別では、「技能実習」（1万3,840人）、「永住」（1万2,491人）、「特別永住」（7,352人）、「留学」（4,707人）の順となっており、2013年と比べると「技能実習」が65%と最も大きく伸びており、「留学」が53%とそれに次いで伸びています。なお、「技能実習」は実数で愛知県、茨城県に次いで全国で3番目に高い数値となっています。一方、「定住」はブラジル人の減少と呼応するように（2008年3,423人→2017年1,943人（43%減））減少しています。

また、県内市町においては、多い順に広島市（約1万8,500人）、福山市（約8,800人）、東広島市（約6,700人）、呉市（約3,300人）となっており、この4市で全体の69%を占めています。ただし、人口比では、多い順に東広島市（3.44%）、江田島市（3.37%）、海田町（2.75%）、北広島町（2.38%）となっており、島しょ部や山間部にも生活圏が広がってきています。

広島県における多文化共生社会実現に向けた取り組み

県では外国籍県民の増加や生活圏域の拡大などを背景として、2001年3月に策定した「広島県国際化推進プラン2005」に基づいて、国籍や民族を問わずすべての人の人権やさまざまな文化、生活習慣、価値観が尊重され、外国籍県民一人ひとりが個性や能力を発揮しながらいきいきと活躍できる「多文化共生社会」を目指し、外国籍県民が暮らしやすい生活環境の整備などを進めてきました。

なかでも、多言語による生活情報提供・日本語学習支援の推進を施策の3つの大きな柱の一つに掲げ、広島県に関する国際関係情報の横断的、一元的な受発信を行うホームページ「ひろしま国際情報ネットワーク HIINT（ヒント）」を開設するなどの取り組みを積極的



外国人相談窓口スタッフ



に進めてきました。

2016年には、外国籍県民の在留資格、社会保険労務などに係る相談に多言語で対応する外国人相談窓口を地域国際化協会である（公財）ひろしま国際センターに設置したほか、外国籍県民の課題解決に向けた総合的・横断的な組織として、県、国の地方法務局、入国管理局、労働局、県内全23市町やNPOなどで構成する「ひろしま多文化共生連絡協議会」を設置し、県内における多文化共生の地域づくりを進める体制を整備しました。

また、この協議会を通じて、2008年から2009年にかけて、外国人相談窓口および日本語学習支援窓口を全市町に設置するとともに、併せて、各市町における行政情報などの多言語化を進めてきました。



Live in Hiroshima トップページ

「暮らし」に着目した多言語情報サイトの開設

県内市町における多言語による情報発信機能が整備される中、2017年度には、県や市町が発信する多言語情報を取りまとめた多言語サイト（「Live in Hiroshima」(リブインヒロシマ)）を、(一財)自治体国際化協会からの支援を得て作成し、これまでの「ひろしま国際情報ネットワーク HIINT (ヒント)」に代わる新たな情報受発信ツールとして運用を開始しました。

このサイトの中心となる県取りまとめの生活ガイド「暮らしの手引き広島」については、日本語を含めて8か国語（英語、中国語、ハングル、ベトナム語、フィリピン語、ポルトガル語、スペイン語）対応とし、県内の外国籍県民のおよそ9割をカバーするものとなっています。

また、生活圏域である各市町の多言語情報が直接得られるよう、市町が発信するさまざまな分野の多言語情報を「生活」、「防災・安全」、「子育て」、「医療・福祉」、「外国人相談窓口」の5つの分野にカテゴライズし、どの情報が何語で提供されているのかが一目瞭然に判別でき



Live in Hiroshima 5分野の情報ページ

るように一覧化し、ピクトグラムを使用するなど、工夫を凝らしています。

また、外国籍県民であるかどうかを問わず、広島で行われるイベント情報などを無料で掲載することができるページを設け、情報交換や共有する場を設定しています。

先般、県内全域に大きな被害をもたらした7月豪雨災害の際には、市町からの依頼に基づいて（公財）ひろしま国際センターと連携しながら、「罹災証明書交付申請書」などを多言語化した様式をこのサイト上で公開するなどの情報提供も行ったところです。

今後とも、外国籍県民の安全・安心、社会参加に関わる多様な情報受発信などの取り組みを通じて、外国人に選ばれ、多様性と活力にあふれる地域社会の実現につなげたいと考えています。

This site provides information about daily life in Hiroshima.



Live in Hiroshima

Access Site

Information Site for Foreigners Living in Hiroshima

<http://live-in.hiroshima-ic.or.jp/>

Live in Hiroshima 周知用カード（英語版）

※注 データ数値は各年12月末状況を示しています。